

# くすのきだより

## 東部版 NO.5

水戸市立 中央図書館 水戸市大町3-3-20 Tel.226-3951  
 東部図書館 水戸市元吉田町1973-27 Tel.248-4051  
 西部図書館 水戸市堀町2311-1 Tel.255-5651  
 見和図書館 水戸市見和2-500-2 Tel.350-2051  
<http://www.library-mito.jp/>  
<http://www.library-mito.jp/mobile/>(携帯端末用)

### 親子をつなぐ 絵本をどうぞ

～ 乳児に絵本を配ります～

水戸市は、平成18年10月27日から、絵本を使った親子のコミュニケーションづくりのため、7か月児健康診査のときに絵本を贈呈します。

健診時受け取れなかった方は、市立図書館で受け取ることができますので、母子健康手帳をお持ちください。(生後1年に達する前日まで)

【対象となるお子様】

- 水戸市に住所があって生後7か月に達した乳児
- 平成18年度に限り平成17年9月生まれ以降の子(4月以降に7か月健診の対象となった子)は生後を1年を超えても対象とします。

【配布する絵本】(どちらかをお選びください)

- ちいさなうさこちゃん ブルーナー作 福音館書店 1964
- じゃあじゃあびりびり まついのりこ作 偕成社 1983

親子で絵本事業は、1992年イギリスのバーミンガムで始まった「ブックスタート」をモデルにしています。ブックスタートは地域に生まれ成長する全ての赤ちゃんの幸せを願って、子どもたちに絵本を届ける事業です。心の成長には大人の側からの言葉による優しい働きかけが必要です。親子で一緒に絵本を読み、語りかけることで、子どもの心の中に安心感を育て、人間関係の基礎を築きます。

【ブックスタートの始まりとなった研究について】

<http://www.bookstart.co.uk/Journalists/Journalists-research/Bookstart-research-in-Birmingham>



016.2	改革を続ける 英国の図書館	西川 馨	リブリオ 出版企画
369.4	ブックスタート 事例集 1	ブックスタート	ブックスタート
雑誌	出版ニュース 2001年12月中旬号 日本におけるブックスタート運動 の進展への期待		出版ニュース 社

#### ブックスタートの意義は大きい

読み聞かせ ボランティア  
四つばの会代表 西村洋子

おかあさんのひざの上で、赤ちゃんがじっと絵を見て耳でことばを聞いています。

はいはいして、絵本を見つけ、いじって遊んでいる赤ちゃんもいます。

今年から水戸でも、「親子で絵本」事業が始まりました。これは、すべての赤ちゃんが「絵本と出会う・親子ふれあい事業」です。これには、2つの目的があります。1つ目は、親子のコミュニケーション、心のふれあいの場になることです。育児から少し手を休めて「絵本って、楽しいね」と、親子で心を通わせることで「心とことば」を育ててくれます。親子

の絆も深まります。2つ目は、子育て支援を図るうえで絵本が効果的だからです。

最近、「おはなし会」にも赤ちゃん連れの親子が来ます。色のはっきりした絵本、食べ物、身近な生き物、乗り物などの絵本に興味を示します。ブックスタートによって水戸市内全部の赤ちゃんに絵本が届くのですから、その意義は大きいのです。私たちも今後が楽しみです。

今では、絵本は子どもだけでなく大人まで楽しめる本になりました。調べると書いた人の思いが伝わってきて、感動します。子どもの前で、その気持ちのままに読むと、じっと聴いています。その絵本の良さを説明しなくても子どもには



わかるのです。ですから、絵本によって、想像する力、考える力、感じる力、表す力が育まれます。

絵本が大事と言われる意義はここにあります。絵本の魅力を伝える為に、私たち会員も頑張っています。

東部図書館開館以来ボランティア活動を続けてきた私は、どれほど多くの子どもたちに出会ったことでしょうか。今、四つばの会会員として中学生からずっと熱心に協力してくれている子が何人かいます。「続けることが一番大事」いつもそう思います。これからも私たちの輪がどんどん広がって、すべての子どもたちが絵本によって「心豊かな幸せな人生を歩めるよう」みんなで頑張っていきたいと思っています。私自身も絵本と出会ったことで、この上ない幸せを実感していますから。

# 子どもと絵本について



親子のコミュニケーションとして絵本はとても有効な道具です。次に、せっかく芽ばえた赤ちゃんの本への興味をどのように伸ばしていったらよいか、参考になる本を紹介いたします。他にも子どもの本についての本を集めたコーナーにたくさんあります。どうぞ、利用してください。

「絵本は愛の体験です。」松居友著 洋泉社 2000 東部・西部 019.5

内容:著者は福音館書店編集者として有名な松井直さんの息子さん。絵本の親しませ方、子どもにとって絵本や絵本の読み聞かせのもつ意味、「なぜ絵本は愛の体験なのか」を自分の思い出や体験もまじえながら書かれています。

「子育てに絵本の読み聞かせを」野村昇司著 銀河社 2004 東部 019.5

内容:乳幼児からの絵本の親しませ方、発達段階に合わせた絵本の与え方、読み聞かせの方法、本の紹介等わかりやすく書かれています。

「子どもと絵本の学校」日本子どもの本研究会編 ほるぷ出版 1988 東部・中央 019.5

内容:絵本とはなんなのか、絵本の歴史、絵本の種類、作家と作品の紹介、乳児から小学生までの子どもの発達と絵本との関係などについてくわしくまとめられています。「これだけは読んでおきたい絵本のリスト(年齢別)」「戦後絵本年表」つき

「赤ちゃんの本棚」0歳から6歳まで ドロシー・バトラー著 百々佑利子訳 のら書店 2002 東部・中央・西部・見和 019.5

内容:赤ちゃんになぜ本をあたえるのか、年齢別本の与え方のコツが実際の事例をあげながら書かれています。年齢別ブックリストつき。外国の事例ですが、紹介された本の多くは日本でも出版されています。

「えほん」子どものための500冊 日本子どもの本研究会絵本研究部編 一声社 1989 東部・中央  
「えほん」子どものための300冊(子どものための500冊続編) 同上 2004 東部・中央・西部・見和  
日本子どもの本研究会絵本研究部編 一声社 028

内容:それぞれ~1988、1989~2002年出版の絵本を対象とて選んだリスト 幼児向、小学校初級向、小学校中級向、小学校上級以上に分けて紹介しています。

「この絵本が好き!」2006年版 別冊太陽編集部編 平凡社 2006 東部・中央 019.5

内容:毎年前年(2006年版は2005年)出版の絵本を対象に人気アンケートの結果と本の紹介。全国の絵本専門店&絵本の充実した大手書店のリスト、その年刊行絵本リストつき

また、水戸市立図書館では「赤ちゃんにおすすめの絵本」「幼児におすすめの本」のリストを作成し、配布しております。

参考図書:「第1回ブックスタート全国大会」本のひととき、赤ちゃんといっしょ NPOブックスタート支援センター 2002  
「第2回ブックスタート全国大会報告書」出会う・向きあう・語りあう NPOブックスタート 2004

水戸市は、子どもたちが健やかに生まれ育つ社会を目指し、「次世代育成支援対策」として「親子で絵本」事業も含め、様々な取り組みをしています。詳しい内容は水戸市役所のホームページや、子ども課でお知らせしています。

## 【マナーを身につける】

図書館では、お子さんが騒いだり、大きな声で話したり、走りまわったりするのを注意することがありますが、これはほかの利用者に迷惑になるからです。幸い東部図書館はまわりが公園です。お子さんが図書館にあきてしまって、静かにすごせそうもないときも、どうぞご利用ください。内と外を上手に使い分けて、お子さんたちが公共の場でのふるまいかたを身につける場所の一つとして、図書館を有効にお使いくださいますようお願いいたします。